



## プロジェクトと現実化

令和 7 年 1 月 31 日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 賀

プロジェクトは、その詳細な計画において現実を可能とできる。これらは目標の設定は、その過程を求めて実現は可能であるという理解を求めるものである。

これらはどのように実現するのか、現実への理解、またその行動計画におけるその実現性を最大限求めるものである。

またこれらは高い効率性においてその実現を要求し、それらはチームにおけるコンセンサスとして要求される。

プロジェクトのタイムテーブルとこの行動計画の作成は、必ずその実現を約束しなければいけない。

またチームにおいて共有される目標へはチームがそれらへ進むことを躊躇してはいけないのである。

これらは高い理想や理想の実現は、詳細な行動計画の作成においてそれらが現実化を 100 % 約束しなければいけないのである。

これらはもっとも厳しさにおいてプロジェクトに向かう必要性があるのである。

これら判断をリーダーが共有することは、それら厳しさが現実かを実現できることを意味するものである。

プロジェクトが与えるものが、チームの高い意欲を実現できるのである。それら部員の選定において意欲は最優先の選択であり、意欲が実現を約束できるのである。

これらは目標を詳細に明示すること、またそれら実現への必要性を理解し、この行動計画の作成を求めてることにおいて、プロジェクトはその実現を約束できるものである。

リーダーの熱意はそれらを牽引するものである。